

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成30年4月分)

平成30年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ スルプスカ共和国(RS)

※当該月、ブルチユコ特別区に関する主立ったニュースはなし。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業

(2) 経済協力

(3) 民間セクター

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●シェシェリ被告への有罪判決(11日)

旧ユーゴ国際刑事裁判所(ICTY)の閉廷を受け、これを引き継いだ国際刑事法廷メカニズム(MICT)上訴裁判部は、11日、シェシェリ事件に関し、被告人を無罪とした第一審判決を一部破棄し、被告人がセルビア急進党の指導者として行った煽動、迫害等の人道に対する罪について有罪とし、量刑を禁固10年とする判決を言い渡した。

これに対して、イゼトベゴビッチ大統領評議会議長(ボシュニャク系)や、紛争被害女性協会は、10年という量刑には不満であるものの、シェシェリ被告が有罪となり戦犯として認定さ

れたことが最も重要であり、この点には満足できると述べた。

●選挙法改正の目処は立たず(25日)

25日、コーマック駐BH米国大使とヴィゲマルク駐BHEU大使の仲介により、SDA、SBB、SDP、HDZ及びDFの代表者によるBH選挙法改正問題をめぐる会合が実施された。今までと同様大きな進展は無く、参加者の中では、5月8日に予定されている選挙公示までの同法の改正は難しいとの考えが広まっている。次回は5月3日に開催されることとなった。

●刑事訴訟法及び選挙法改正法案、審議されず(26日)

26日、BH刑事訴訟法改正法案に関する

協議が予定されていたBH議会上院会合は、クロアチア系議員の定足数不足により開催されなかった。

同改正法案については、前回18日の会合において、ボシュニャク系第一党のSDA案が緊急審議手続きでの取扱いが可決された一方、クロアチア系第一党のHDZ案は否決されていた。

●戦犯13名の逮捕(27日)

27日、国家捜査保護庁(SIPA)は、ビハチにおいて、BH紛争時の戦争犯罪により、ドウダコビッチ元BH共和国軍第五軍司令官及び同部隊の元高官等13名を逮捕した。

この逮捕をめぐり、ビハチ市を有しボシュニャク系が多数派を占めるウナ・サナ・カントンの議会では、「ドウダコビッチ司令官の貢献に感謝し同逮捕を遺憾とすを支持する集会が開催され、イゼトベゴビッチ大統領評議会議長(ボシュニャク系)やズビズディッチ閣僚評議会議長(ボシュニャク系)も、この逮捕を不服とする発言を行った。一方で、ドディックRS大統領を含むセルビア系は、同逮捕に12年を費やしたこと、ボシュニャク系による集会や司法に対する攻撃を国際社会が非難していないことを指摘し、改めて国際社会やBH司法によるセルビア系への不公平を訴えた。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●セルビア系の権利確保に向けドディックRS大統領らが協議(9日)

9日、モスタル市において、ドディックRS大統領、ブチッチ・セルビア大統領及びグリゴリエ・セルビア正教会司教及び同市セルビア系団体代表は、BH連邦の4カントンにおいて

セルビア系の憲法的地位が補償されていない件につき協議した。翌10日、ドディック大統領及びブチッチ大統領は、セルビアが領事館を設置したRS南東部のセルビア系が多数派のトレビニェ市を訪問した。

●BH連邦議会、3ヶ月ぶりの開催(17日及び19日)

17日、BH連邦議会下院会合が3ヶ月ぶりに実施された。しかし、同日、同議会議事堂前において退役軍人のデモが過激化し、警察との衝突が発生したことから同会合は中断し、翌18日に改めて会合が実施された。また、19日、BH連邦上院会合が約3ヶ月ぶりに実施された。

●BH連邦議会下院副議長の逮捕(20日)

20日、BH連邦警察は、シュバンツェルBH連邦議会下院副議長他1名のSBB党員を、職権濫用容疑により逮捕した。同逮捕は現在取り組まれている反腐败作戦「Globus」の一環。

●PDA、クキッチを党首に選出(22日)

22日、トウズラ・カントン政府の交代を支持し除籍になった元SDA議員等が立ち上げた民主行動運動(PDA, Movement for Democratic Action)が党大会を開催し、クキッチ元SDA副党首兼トウズラ・カントン支部長を党首として選出した。

●モスタル市議会選挙の解決策見えず(12日、19日、26日)

4月12日、19日及び26日、3月に引き続き、モスタル市において、BH主要9政党の地元代表が2008年以来実施されていないモスタル

市議会選挙問題の解決につき協議を行った。市の法令の改定と選挙モデルを具体的に話し合ったが、SDAが主張している法令改正による副市長の導入に対し、HDZが強硬に反対して、協議は平行線のまま終了した。

イ スルプスカ共和国(RS)

●ヤセノバツ強制収容所の追悼祈念行事(15日)

15日、RS及びセルビア政府は、RSドニャ・グラディナ市からクロアチアのヤセノバツ市にかけて存在した、第二次世界大戦時のヤセノバツ強制収容所の追悼祈念行事を実施した。

●「ボシュニャク系の言語」はVNIの侵害に当たらず(25日)

25日、RS憲法裁判所の民族の死活的利益(VNI)パネルは、2月にRS国民議会が採択した中等教育法の中で「ボシュニャク系の言語」と記載されている言語名は「ボシュニャク語」であるべきというボシュニャク系議員団の申立てについて、同記載は、VNIの侵害には当たらないと判断した。

●若者の不審死をめぐる捜査に関するデモの拡大

3月末に発生した若者の不審死へのRS当局の不十分な対応に対し、パニャ・ルーカ市において1ヶ月以上抗議デモが続いている。その中、与党議員もRS内務相及びRS警察庁長官の辞任を要求する発言を始めており、27日、RS国民議会議長は、同問題に関する特別会合を実施することを決定した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●モスタル・フェアの開会式(10日)

10日、モスタル市において、国際物産品展モスタル・フェアが開会し、BH、セルビア、クロアチア、モンテネグロ及びブルガリアの首脳が出席した。本年の同フェアのパートナー国を務めたセルビアのブチッチ大統領は、開会式において、西バルカン地域の人々が協力をして、共通の利益を模索していくためにも、同フェアのような機会は重要であると述べた。

なお、BHからはイゼトベゴビッチ大統領評議会議長及びズビズディッチ閣僚評議会議長(いずれもボシュニャク系)は出席しなかった。

●イゼトベゴビッチ大統領評議会議長のNATO事務総長との会談(17日)

17日、イゼトベゴビッチ大統領評議会議長(ボシュニャク系)はブリュッセルを訪問し、ストルテンベルクNATO事務総長と会談を行い、BH情勢について意見交換を行った。イゼトベゴビッチ議長は、NATO統合はBHIにとり優先課題であり、BHは10年以内に安定した欧州の国家になるだろう旨述べた。

●EUによるプロGRESS・レポートの発表(17日)

17日、モゲリーニEU外交安全保障政策上級代表とハーン欧州近隣政策・拡大交渉担当欧州委員は、西バルカン諸国に関する本年のプロGRESS・レポート(国別進捗報告書)を発表した。BHに関するレポートでは、選挙法改正問題が未解決であり、国政選挙の実施と結果の履行を確実にするために同法の改正が急務であると述べた他、各違憲判決の履行及び司法改革の遅延、腐敗の蔓延やジャーナリス

トに対する政治圧力等についても指摘を行った。

これらの報告書の発表を受け、マクロン仏大統領は、EUの改革が終わるまで拡大は支持できないと述べたが、ユンカー欧州委員会委員長は、西バルカンにおける紛争の再発を防ぐためにもEUはドアを閉めてはならないと述べた。

●サラエボ・ビジネス・フォーラムの開催(25-26日)

25-26日、ボスニア国際銀行(BBI)と、イスラム開発銀行やドバイ・イスラム銀行等のBBIの株主による共催で、第9回サラエボ・ビジネス・フォーラムが開催された。同フォーラムには、BHのほか、アルバニア、クロアチア、マケドニア、モンテネグロ、セルビア及びスロベニア等から会社や個人の投資家やビジネスマンが集まり、期間中には250ものプロジェクトが発表され、365件に及ぶ商談が実施された。

●トウスク欧州理事会議長のBH訪問(26日)

26日、トウスク欧州理事会議長がBHを訪問し、BH大統領評議会と会談を行い、BH情勢や5月にブルガリアで開催されるEU・西バルカン首脳会合につき意見交換を行った。トウスク議長は、大統領評議会メンバーに対し、妥協の必要性を説いた他、選挙法改正問題の解決、また民族対立や宗教対立を超えて和解を目指し、市民生活の向上に努めるように求めた。

(2) 二国間関係

●ドディックRS大統領とブチッチ・セルビア大統領の会談(3日)

3日、ドディックRS大統領は、ベオグラードにおいてブチッチ・セルビア大統領と会談を行った。会談後、ドディック大統領は、セルビアの支援に謝意を述べた他、バニャ・ルーカ近郊で予定されるNATOの軍事演習について触れ、同演習は市民の利益に反する上、RS国民はNATOへの信頼が一切なく、劣化ウラン弾の使用可能性もあることから、RSは同演習に反対すると述べた。

●クロアチア、ペリエシャツ橋の契約に署名(23日)

23日、クロアチアは、中国の合弁企業とペリエシャツ橋(注: BH領で分断されているクロアチア南部沿岸地方を接続)の建設に関する契約に署名を行った。これに伴い、イゼトベゴビッチ大統領評議会議長とズビズディッチ閣僚評議会議長(共にボシュニャク系)が、BHの外海へのアクセス問題が解決されるまで橋の建設は止めるべきだとして、同契約を非難する声明を出し、一方でチョービッチ大統領評議会メンバー(クロアチア系)は、これを祝う声明を発売。同橋の建設をめぐるBH内で対立が深まった。

●マトヴィエンコ露議会上院議長のBH訪問(23~24日)

23~24日、マトヴィエンコ露議会上院議長がBHを訪問し、BH議会上院会合等で演説を行った他、BH大統領評議会及びドディックRS大統領等と会談を行った。同議長は、演説の中で、露にとり南東欧諸国との関係強化は外交優先課題の一つであると述べた他、BHにおいては、デイトン合意が唯一無二であり、システムの再構築は不要であると述べ、デイトン合意に規定のないBH憲法裁判所、BH裁

判所等は改革されるべきと指摘した。右に対し、BH連邦のメディアは、BHの主権強化を支援すると言いながら内政干渉をしているとして非難した。

●シムシェキ・トルコ副首相のBH訪問(25日)

25日、サラエボ・ビジネス・フォーラムに参加のためBHを訪問中のシムシェキ・トルコ副首相は、ズビズディッチ閣僚評議会議長及びイゼトベゴビッチ大統領評議会議長(共にボシュニャク系)と個別に会談を行い、二国間関係及びBHの政治経済状況につき意見交換を行った。

3. 経済

(1) 経済政策、国別信用格付、公共事業、

●BHの国別信用格付

BHの国別信用格付は、国際的信用格付会社スタンダー・ドアンドブ・アーズ社によればB(安定的)。その主な理由として、同社は、間接税歳入の伸びによる安定的な経済成長と比較的に低い債務率を挙げており、この傾向は今後も続くとの評価。同じく国際的信用格付会社ムーディーズ社によれば、B3(安定的)。その理由として、同社は、BHが組織的な問題や非常に高い失業率を抱えつつも、弾性的な経済成長を続けていることを強調し、IMFの融資やEU統合プロセスに向けて漸進的な改革が推進されるとして安定的との評価を下している。

●10年後、BHの観光産業は14億KM/年

世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)によると、昨年BHにおける観光の直接効果は7億9,900万KMであったが、今後10年間で14億1,000万KM(約)まで増加の見込み。

2017年にBHを訪れた観光客は130万人を超え、2016年比13.7%増であった。最多は、隣国クロアチア及びセルビアからの観光客で、長期滞在をするのはトルコとUAEからの観光客。

●対外貿易会議所、トルコに代表事務所を開設(13日)

13日、BH対外貿易会議所はトルコに代表事務所を開設し、シャロビッチ副首相兼対外貿易経済関係相らが参加して、開所式が行われた。同事務所は、トルコの投資家に対して、BHの投資情報を提供し、プレゼンや会議の設定を行う。

●風力発電所の新プロジェクト合意(25日)

25日、サラエボ・ビジネス・フォーラムにおいて、トルコのEnprode社とBHのImres Smart社が、ズビズディッチBH閣僚評議会議長及びシムシェキ・トルコ副首相の同席の下、新たな風力発電所プロジェクトについて覚書を結んだ。同プロジェクトは、クロアチアとの国境に近いリブノ市の周辺で実施され、第一フェーズは100MWの風力発電施設、第二フェーズは同じく100MWの水力発電施設の建設・運営を予定している。

(2) 経済協力

●EU、洪水被害に1億2,500万ユーロを追加支援

EUは、4年前にBHで発生した洪水の被害地域に対し、地方政府とUNDPと共同で総額

1億5,000万ユーロに上る新規プロジェクトを実施。このうちEUが1億2,500万ユーロを拠出し、残りは地方政府が負担する。地方政府は主に新家屋の建設に対する5,000KM／軒の補助や住民共用施設の建設、建設許可の迅速化を担当する。

●EU、司法施設の修復に750万ユーロを拠出(4日)

4日、東サラエボ市検察官事務所及びフオチャ市簡易裁判所の建物修復プロジェクトの鍬入れ式が、両市の関係者、地方司法組織及びEUの代表者が参加して、実施された。

同プロジェクトは、EUの法の支配強化支援プロジェクトの一環で、EUは今年総額750万ユーロをかけ、BH全土の9司法施設の修復に取り組む。

(了)